

出しもの です



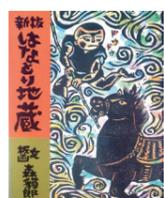
シナノ (千曲朗読の会)

信濃の国の「信濃」という言葉は、千曲市に残る「科野」という地名からできました。その理由に迫る新作民話。丘の上にある古墳の上で、喋りの基本を伝授している現役のフリーアナウンサーが披露します。雄大な景色もお楽しみください。



杏姫ものがたり (花水木の会、ひとみの会)

日本一の生産量を誇る千曲市の杏。江戸時代、四国伊予宇和島藩の豊姫が信州松代藩に嫁ぐときに持参した種がはじまりです。小石まじりの水はけの良い森地区や倉科地区などで栽培が盛んになり全国に知られる「あんずの里」になりました。



はなとり地蔵 (水晶の会、ひとみの会)

森將軍塚古墳の頂上からは広大な田んぼが見渡せます。地元で稲作の神として大切にされてきた地蔵をモチーフにした物語。機械がなかった昔、田ごしらえには、棒を牛や馬の口に結んで田の中を引き回す「はなとり」の仕事が重要でした。



恋しの湯 (のぞみ会、千曲の会)

江戸に出た恋仲の米吉に再会するには「千曲川原の赤い小石 100 個を拾って供えよ」と夢に告げられたお政。赤石はなかなか見つからず、最後の 100 個目が見つかったところは…。戸倉上山田温泉のはじまりとも伝わるお話です。



姨捨伝説 (更級かたりべの会、すみれの会、ひとみの会)

一度は山に捨てられた老母の知恵で、クニ(国)が救われた物語。その知恵とは…。親子の情愛。長く生きることではか蓄えられない知恵。現代の戦争の様相に重ねて考えさせられる物語でもあります。



ばしょうさんとおばすて山の月 (夕月の会)

松尾芭蕉は「奥の細道」の旅に出る前の年、どうしても姨捨山の中秋の月を見たくて、さらしなの里にやってきた。旅の苦勞、不思議な出会い、そして念願の姨捨山の月を見て芭蕉の心に浮かんだのは…。紙芝居でお楽しみいただけます。



箱膳 (かけはしの会)

中に食器を入れておき、食事の時はふたを返してお膳として使った日本の伝統的な食事道具「箱膳」を使い、千曲市の伝統的な料理を食べていただきます。お米は「さらしな米」。千曲市産の野菜をたっぷり使った汁物、煮魚などをお楽しみください。

今回の民話紀行にご支援をいただいた企業様、団体様です

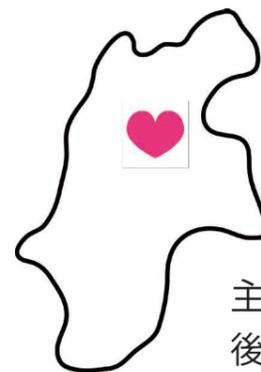


月の都千曲 民話紀行



さらちゃん

令和7年 5月25(日) 26(月)



画：たかおかひさえ
童話「田ごとの月」(後藤権根作)から

主催：「月の都千曲民話紀行」実行委員会
後援：長野県 千曲市 千曲市教育委員会 千曲市社会福祉協議会

日本遺産の千曲市 自然と文化、風景が楽しめる地

長野県知事 阿部守一



「月の都千曲民話紀行 おらほの話を聞いとくれ」が盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。

長野県では、長い歴史と豊かな自然の中で営まれる暮らしの中から、様々な文化や芸術が生まれてまいりました。そのひとつが、県内各地に多く語り継がれている「民話」であり、長野県立歴史館のデータベースには、約1800話にも及ぶ大変多くの民話が収められています。また、多種多様な民話が過去から現代まで受け継がれており、まさに長野県は民話の宝庫です。

このような、地域の歴史や風土に根差した民話を大切に守りながら、後世への継承にご尽力をいただいている、「月の都千曲民話紀行」実行委員会の皆様には、深甚なる敬意を表するとともに心より感謝申し上げます。

千曲市は、日本遺産の一つ「月の都千曲」として、「姨捨の棚田」をはじめ、美しい自然と歴史的な文化が調和する魅力あふれる場所です。四季折々の風景が楽しめるこの地には、世代を超えて語り継がれてきた民話や伝説が数多く残されています。そうした民話を聞きながら、千曲市の名所を巡ることで、地域の魅力を再発見し、民話をより身近に感じていただけることを願っております。

県では、「第2次長野県文化芸術振興計画」において、誰もが文化芸術と触れあい、心豊かに暮らしている社会を目指し、県民の皆様が文化芸術に参加できる機会の拡大に取り組んでいるところです。今後も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、「月の都千曲民話紀行」のご成功と、開催にご尽力いただきました関係の皆様、参加される皆様のご健勝を祈念し、お祝いのあいさつといたします。

「文化伝承創造都市」を一層豊かにする民話紀行

千曲市長 小川修一



「月の都千曲 民話紀行」が千曲市で開催されますことに、開催地を代表して心より御礼申し上げます。

今回お話しされる民話の多くは、千曲市を代表する歴史遺産をモデルに創作されたものであると伺っております。

森將軍塚古墳は、県内最大規模を誇る前方後円墳であり、古代から継承された景観を体験ができる場所として多くの来訪者があります。

また、姨捨の棚田や長楽寺、武水別神社神官松田邸につきましては、令和2年に日本遺産に認定された「月の都 千曲～姨捨の棚田に映る摩訶不思議な月景色 田毎の月～」の構成文化財であり、当地に伝わる観月文化を体感できる場所として知られております。

現在、本市では、「文化伝承創造都市」を市の将来像に掲げ、施策を進めておりますが、地域に息づく文化をどのように次世代に伝えていくのか、非常に重要な課題であると考えております。

こうしたなかで、地域の皆さまが主体となった「月の都千曲 民話紀行」が本市で開催されることは、民話を通じて地域の歴史文化を一層豊かにできる方策として、非常に意義深いものであると考えております。

結びに、運営に当たられます実行委員会をはじめ、このプロジェクトの開催にご尽力いただきました会長を始め、参加者の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、歓迎の挨拶といたします。

「月の都千曲民話紀行」実行委員会より

千曲市は2020年、「月の都千曲」というタイトルで文化庁から日本遺産に認定されました。千曲市の千曲川西岸域が、月が特別に美しい里として京の都に知られていた「さらしなの里」（旧更級郡）であることが関係しています。古今和歌集に載る「わが心慰めかねつさらしなや姨捨山にてる月を見て」が「月の都」のはじまりです。千曲川東岸域は「科野の里」の里と呼ばれ、長野県の異称「信濃」のはじまりの地名であると言われています。今回の民話紀行では、こうした2つのブランド地名を持つ千曲市の景観や史跡の魅力もたっぷり味わっていただきます。

タイムスケジュール

5月25日（日）13：00 ホテルを出発

1号車

13：30 **長野県最大の前方後円墳**
@森將軍塚古墳
「シナノ」
古墳館館長説明

14：50 **科野の大王を現代に**
@森將軍塚古墳館
「杏姫ものがたり」
「はなとり地蔵」

16：20 **戸倉上山田温泉の真ん中**
@水と緑と潤いのある公園
「恋しの湯」

2号車

13：30
@森將軍塚古墳館
「杏姫ものがたり」
「はなとり地蔵」

14：50
@森將軍塚古墳
「シナノ」
古墳館館長説明

16：20
@水と緑と潤いのある公園
「恋しの湯」

3号車

13：05
@水と緑と潤いのある公園
「恋しの湯」

14：15
@森將軍塚古墳
「シナノ」
古墳館館長説明

15：20
@森將軍塚古墳館
「杏姫ものがたり」
「はなとり地蔵」

18：00
夕食
(交流会)

希望者は
姨捨夜景



5月26日（月）8：45 ホテルを出発

1号車

9：05 **スイッチバックと夜景が有名**
@姨捨駅

9：35 **風景の国宝**
@棚田散策

10：05 **松尾芭蕉が立ち寄ったお寺**
@長楽寺
「姨捨伝説」

11：00 **「月の都」の交流拠点**
@武水別神社
神官松田邸

12：15
箱膳体験
@明徳寺
冠着山（姨捨山）
の籠のお寺

2号車

9：05
@武水別神社
神官松田邸
「ばしょうさんとおばすて山の月」

10：05
@姨捨駅

10：35
@棚田散策

11：05
@長楽寺
「姨捨伝説」

14：00頃
解散

3号車

9：00
@棚田散策

9：30
@長楽寺
「姨捨伝説」

10：25
@武水別神社
神官松田邸
「ばしょうさんとおばすて山の月」

11：25
@姨捨駅



日本遺産
「月の都千曲」
のサイトです

